

総合臨床検査技術演習

[演習] 第3学年 後期 必修 1単位

《履修上の留意事項》第3学年前期までに医療技術学部配属されている必修科目を全て修得していない者は受講できない。
「臨床実習」の履修資格取得に必要である。

《担当者名》 沖野久美子 遠藤輝夫 黒澤隆夫 幸村 近 田中真樹 藏満保宏 吉田 繁 坊垣暎之 松尾淳司
丸川活司 鈴木喜一 近藤 啓 江本美穂 高橋祐輔 高橋祐司 山崎智拡 小野誠司

【概要】

臨床実習に臨むに当たり、基本的な知識と検査技術および患者や医療スタッフとのコミュニケーションについて、臨床検査技師としての総合的な能力の向上を図る。

【学修目標】

- 1) 臨床実習を開始する前に、これまで修得した臨床検査の知識及び技術を理解し身につける。
- 2) 医療現場において必要な、医療スタッフや患者とのコミュニケーションを身につける。
- 3) 厚生労働省「臨床検査技師養成所指導ガイドライン」に記載された、臨地実習において学生に実施させるべき行為を実行し、検査目的や結果の解釈を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	・総合臨床検査技術演習の意義と概要 ・OSCE（客観的臨床能力試験）についての説明	沖野久美子 遠藤輝夫
2) 15	臨床実習で求められる臨床検査の技能演習	・3年次までに修得した臨床検査について、知識と技術の確認	沖野久美子 遠藤輝夫 黒澤隆夫 幸村 近 田中真樹 藏満保宏 吉田 繁 坊垣暎之 松尾淳司 丸川活司 鈴木喜一 近藤 啓 江本美穂 高橋祐輔 高橋祐司 山崎智拡 小野誠司

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

OSCE 100%

【教科書】

資料を配布する。

第3学年までに使用した教科書も使用する。

OSCEは別途資料を配布する。

【備考】

授業の詳細は、厚生労働省「臨床検査技師養成所指導ガイドライン」の改訂を受けて変更される場合がある。

【学修の準備】

教科書で演習内容に該当する内容を事前に読んでおくこと。(80分)

演習で学習した内容を復習し、要点をまとめ口頭で説明できるようにすること。(80分)

【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP2) 臨床検査に必要な知識と技術を修得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

(DP3) 保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性を身につけている。

【実務経験】

沖野久美子(臨床検査技師)、遠藤輝夫(臨床検査技師)、幸村 近(医師)、田中真樹(歯科医師)、藏満保宏(医師)、吉田 繁(臨床検査技師)、坊垣暁之(医師)、丸川活司(臨床検査技師)、近藤 啓(臨床検査技師)、高橋祐輔(臨床検査技師)、高橋祐司(臨床検査技師)、小野誠司(臨床検査技師)

【実務経験を活かした教育内容】

臨床では欠かせない基本的手技や技術の習得のため、医療機関での実務経験を活かした専門分野に携わる教員が実践的指導を行い、不足している知識や技術は個別に指導する。